

**ショートフィルムの発展・普及の貢献に贈られる「話題賞」
アーティストで映画監督の石井竜也が受賞
～イメージショートフィルムで監督・脚本・演出の3役を務める～**

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)」が、いよいよ6月16日(木)から26日(日)まで表参道ヒルズ スペース オーほかにて開催されますが、開催に先駆け2011年の話題賞が決定し、映画祭のオープニングイベントにて授賞式が行われました。

話題賞は、日本のショートフィルムの発展・普及に貢献した団体・個人・作品に贈られる賞です。2003年より設置された賞で、昨年は『愉快なお手伝い』というショートフィルムを監督した、韓国版「花より男子」のクム・ジャンディ(牧野つくし)役で日本でも有名な韓国の人気女優、ク・ヘソンさんが受賞しています。これまでも、ショートフィルムという映像ジャンルを世間に広めた方々が受賞してきています(詳細は次頁をご参照下さい)。

そして本年度の話題賞は、アーティスト、そして映画監督としても幅広く活躍している石井竜也さんが受賞しました。石井竜也さんが、約15年ぶりにメガフォンをとった『笹舟 -sasabune-』は、2011年2月2日にリリースされたシングル「はなひとひら」のイメージショートフィルムとして製作され、監督・脚本・演出の3役を石井さんご自身が担当しています。氷点下に達する極寒の京都で、わずか2日間で撮影された本作品は、本映画祭終了後、ブリリア ショートショート シアター(横浜・みなとみらい <http://www.Brillia-SST.jp/>)にて上映を予定しています。

2011年 話題賞

石井 竜也 / TATUYA ISHII (アーティスト / 映画監督)



1959年生まれ。'85年米米CLUBとしてデビュー。楽曲の作詞・作曲、ステージセット、コスチュームなど総合的にプロデュースする。多くのヒット曲をリリースするかたわら、映画監督としても活動の場を広げ、'94年『河童』『ACRI』を公開。'97年の米米CLUB解散後('06年再始動)、ソロ活動開始。毎回テーマ性のある趣向を凝らした全国ツアー、アートパフォーマンス、オーケストラライブなどを展開する。音楽活動に加えて'98年「大阪HEP FIVE(商業ビル)」空間プロデュース、'05年には愛知万博「愛・地球博」レギュラープログラムの総合プロデューサーを務め、'08年には近代製鉄発祥150周年記念シンボルキャラクター「AIRA」を制作、さらに'02年からは愛と平和を願うアート・インスタレーション「GROUND ANGEL」を横浜('02~'04)、広島('05~'06)、東京('07~'09)にて開催し、のべ90万人以上を動員する。

またインダストリアル・デザイナーとしてもノートパソコン、携帯、アクセサリや食器など様々なデザインを多く手がけるほか、作品制作にも積極的に取り組み、'94年「未来遺蹟展」'97年「空想美術館」'99年「昇展」'02年「NUDE」'06年「Venus White」といった作品展を、'08年には古来より伝わるダルマを用いて制作した不可思議でスピリチュアルなオブジェ「顔魂」を一堂に会した展覧会「顔魂~KAODAMA~」を、六本木・森アーツセンターギャラリー(1~2月)、奈良・薬師寺(8~9月)にて開催。

「笹舟 -sasabune-」

出演:五十嵐令子(お花)、石部雅紀(丈太郎)

ストーリー:

身体を患った父親と一家を支えるため、帯作りの工房「一花工房」へ奉公に出た18歳の娘「お花」と、武家の長男として生まれたものの、心根の優しさからその世界に馴染めずにいる「丈太郎」。江戸時代の京都を舞台に身分違いの恋を描いた、淡く儂い物語。



◆話題賞 (Spotlight Award)

ショートフィルムにて世間より多くの注目を浴び、多くの影響と普及に貢献された方に、映画祭実行事務局より贈られる賞。
2003年新設。

< 話題賞 歴代受賞者 >

2010年 ク・ヘソン監督(韓国の人気女優、韓国版「花より男子」クム・ジャンディ(牧野つくし)役)

2009年 土屋アンナ監督

2008年 オムニバスショート「R246 STORY」(浅野忠信監督、中村獅童監督、須藤元気監督、VERBAL[m-flo]監督、ILMARI[RIP SLYME]監督、ユースケ・サンタマリア監督)

2007年 松田聖子(歌手)、ケイン・コスギ(俳優)

2006年 ゴリ[ガレッジセール]監督

2005年 桃井かおり(監督/女優)

2004年 小雪(女優)

2003年 椎名林檎(ミュージシャン)

映画祭公式サイト: <http://www.shortshorts.org/2011/>

Twitter: http://twitter.com/s_s_f_f

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011 開催概要

会場: 表参道ヒルズ スペース オー (東京都渋谷区神宮前4-12-10表参道ヒルズ本館地下3F)
日程: 2011年6月16日(木)~19日(日)

会場: ラフォーレミュージアム原宿 (東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿6F)
日程: 2011年6月22日(水)~26日(日)

会場: TOHOシネマズ 六本木ヒルズ(オールナイト上映) (東京都港区六本木6-10-2 けやき坂コンプレックス)
日程: 2011年6月17日(金)・18日(土)

会場: シネマート新宿(3D部門上映) (東京都新宿区新宿3-13-3 新宿文化ビル6・7F)
日程: 2011年6月17日(金)~24日(金)

会場: ブリリア ショートショート シアター(横浜開催) (横浜市西区みなとみらい5-3-1フィルミー2F)
日程: 2011年6月18日(土)~26日(日)

※映画祭オフィシャルHPは5月初旬にオープン予定 (www.shortshorts.org/2011/)

※チケットは5月14日(土)より発売開始

※オープニングイベントは6月16日(木)、アワードセレモニーは6月26日(日)に行われます。

完全招待制のため、チケットは販売致しません。



米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年4000本以上にも及ぶ作品が、世界50以上の国や地域からよせられ、のべ14万人を動員するイベントです。これまでに、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、などでも開催され、2010年にはマレーシアでも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。また審査員には、大沢たかお、押井守、奥田瑛二、崔洋一、デーブ・スペクター、武田双雲、竹中直人、土屋アンナ、寺島しのぶ、野口健、堀北真希、村上龍、桃井かおり、山田優など多彩な顔ぶれをお迎えし、様々な視点から審査をして頂いています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また同年10月、石原慎太郎都知事の提案の下、「東京都を拠点とするアジア映像文化のショーケースを設ける映画祭」として「ショートショート フィルムフェスティバル アジア」を「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」の兄弟映画祭として開催。日本で初めての、アジア諸国のショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートしました。現在は、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」として、毎年同時開催を行っています。

また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。本映画祭参加監督には、今や米国アカデミー賞ノミネート監督として名高いジェイソン・ライトマン監督や、「カンフーパンダ」などのヒット作を生み出すマーク・オズボーン監督、シンガポールの新鋭、「881 歌え！パパイヤ」のロイストン・タン監督などがおり、今や第一線で活躍する監督も続々と輩出しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

ショートショート実行委員会
TEL:03-5474-8844/FAX:03-5474-8202

株式会社プラップジャパン
担当: 持富、伊藤、山口
TEL:03-3486-6868/FAX:03-3486-7502
Email:k-mochitomi@prap.co.jp